

ツール特集

管理者配布用

「ご機嫌な職場」実践シート

— チームを活性化させる仕掛けとアドバイス —

人材革新研究所 代表 本田 有明

■職場を活性化しチーム力を強化しよう

「チーム力強化」といった場合、恐らく2通りのアプローチがあるだろう。

1つは管理志向に走るケースだ。求める水準を高く設定し、甘えと妥協を許さず、競争原理でライバル意識を焚きつけ、付いてこれられない者は容赦なく切り捨てるといったスタイルになる。確かにチームは強くなるかもしれないが、厳しい環境に萎縮して力が発揮できない者が続出し、成果を出す者も長居は無用とばかりに次々に職場を去っていく可能性は高い。やがて管理者自身が自滅し、“そして誰も居なくなった”という悪い冗談のようなオチを迎える。

「チーム力強化」のもう一つのアプローチは、活性化を極める方法だ。どんなメンバーにも良いところはあるという前提で、ほめて、盛り上げて、職場を挙げて支え合い、どんどん力を発揮してもらおうという働き掛けである。職場の雰囲気が良ければ新人でも何でも発言する。また、信頼関係があるから先輩たちも役立つアドバイスを惜しみなく提供する。だからメンバーはどんどん成長し、職場には前向きで挑戦的なアイデアが次々に出てくる、という好循環が期待できる。

本稿が目指すのはもちろん後者のスタイルだ。職場を預かる管理者の皆様には、ぜひ実践してほしい内容ばかりである。

(編集部)

構成

- No.1 多くの職場で問題になっていること
- No.2 人が濃密に関わり合う風土を作る
- No.3 言葉による報酬を惜しまない
- No.4 みんなが「ほめ上手」になる
- No.5 元気が出る言葉で職場に花を咲かせる
- No.6 チーム一丸でホウレンソウに取り組む
- No.7 「学習する組織づくり」に取り組む
- No.8 大切なことは何でも「見える化」する
- No.9 「楽しい仕掛け」をたくさん用意する
- No.10 人の責任追及ではなく事柄の原因追求を
- No.11 職場のメンタルヘルスに光を当てる
- No.12 人から貪欲に学ぶ風土を作る
- No.13 キャリアに対する柔軟な考え方を持つ
- No.14 仕事を効率よく進めて残業を減らす
- No.15 統制型ではなく協働型チームを実現する

~~本シートのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方は editors@busi-pub.com まで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込み下さい (TEL、FAXは不可)。'09年6月30日まで。~~

■本田有明 (ほんだ ありあけ)

1952年、兵庫県神戸市生まれ。慶應義塾大学哲学科卒業。(社)日本能率協会にて経営事業本部、情報開発本部などに所属し、部長職を務める。現在、人材革新研究所/本田コンサルタント事務所代表として、コンサルティング、教育、執筆活動に従事。著書に『7人の上司』『若者が3年で辞めない会社の法則』『できる人はシンプル思考』『いつも結果が出せる人の仕事術』(ともにPHP研究所)、『仕事に活かす<論理思考>』(ちくま新書)、『へたな人生論より葉隠』(河出文庫)などがある。

●ホームページ <http://www014.upp.so-net.ne.jp/honda-consul/>

この記事はPDFファイルで入手